

めあて

クラシックバレエのレッスンや演技を実演することにより、バレエの興味・関心を深めバレエを親しもうとする心情を育てる。

対象：クラス単位・学年単位

対象

小学校全学年

中1

中2

クラシックバレエ



授業の流れ（基本プラン）

1～2時限（通常の授業時間）

あいさつ（講師紹介）

実 演

講 話

体 験

質 問

実 演

◆実 演◆

しょうひん
小品を踊る

《生の演技を観ることで魅力を感じさせる》

◆講 話◆

クラシックバレエの誕生・歴史、クラシックバレエのマイム（身振りで物語の展開を語るもの）について

《歴史的背景などについて話をし、バレエへの理解を深めてもらう》

◆体 験◆

ストレッチ、バーレッスン 振付を踊ってみる

《実際に身体を動かすことでバレエへの関心を高める》

◆質 問◆

体験したことでの疑問、知りたいこと等を質問してみましよう

◆実 演◆

体験してから演技を観ることでバレエへの関心をさらに高める



講 話



実 演



体 験



クラシックバレエとは・・・
西ヨーロッパで発生し広まった、歌詞・台詞を伴わない舞台舞踊です。もとはオペラの一部として発達しました。そのため、物語性も持ちます。複数の幕をもつ舞踊劇として、「くるみ割り人形」「白鳥の湖」「眠れる森の美女」「ドン・キホーテ」などがあります。



☆実施校からの声☆

- ・ストレッチから始まりバレエのステップ、そして2人組になって短いダンスを踊るうちに、最初は尻込みしていた児童たちも、少しずつ踊れるようになり、最後には笑顔で体験していました。
- ・実際に舞台上で着ていらっしゃる衣装でダンスを踊っていただき、子供たちも感動し鑑賞していました。